



いきいき弥小っ子



弥彦小学校ブログ 日々更新中！ <http://yahikosyou.blog-niigata.net> 文責 校長 木嶋 達平

■ハーモニー ～音を奏でる素晴らしさ～

音楽を通じてお互いの違いを認め合いながら、一つのハーモニーを作り上げ、「みんなで創るカラフルな学校」を具体化する行事として子どもたちと職員が取り組んできました。

当日は、体調を崩し参加できなかった子どもや、参加したいという気持ちがあっても参加できなかった子どももいたでしょう。私は、よい演奏をすることだけが目的ではなく、みんなで何かを一緒に創り上げようとする気持ちや練習の過程が大事であると子どもたちに話してきました。

音楽発表会前、校長室で仕事をしていると、休み時間にも音楽室から楽器の音が響いていました。のぞいてみると自主的に友達と一緒に練習し合う子どもたちの姿がそこにはありました。



子どもたちと先生が相談し合いながら、複数の曲から合唱曲を選んだ学年もありました。また自分たちが選んだ指揮者のアドバイスに耳を傾ける姿もありました。まさにみんなで創り上げる過程が随所に見られた音楽発表会となりました。



新型ウィルス禍が収束しつつある中、テレビやネットからは、戦争の映像が流れ、世界で多くの命が失われていることを子どもたちは、感じているのではないのでしょうか。そのような中で、モンゴル国の子どもたちと音楽を通じた交流ができたことは、子どもたちの心に文化の違いがあっても仲良くできることを実感する良い機会となったと思います。そう言えば、ジョン・レノンの有名な曲に「イマジン」があったなと思い出し、改めて聞きました。最後の歌詞は下記のとおりです。

I hope someday you'll join us

And the world will live as one

*和訳 サイトによって若干解釈が違いました

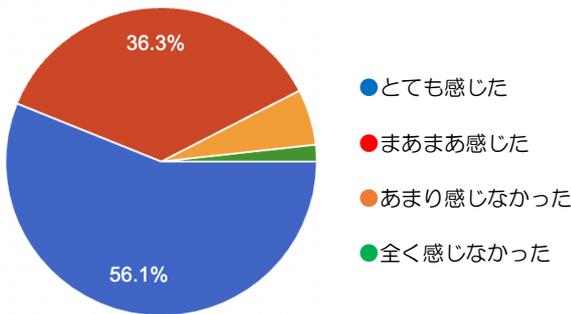
いつかあなたもみんな仲間になって

そして世界はきっとひとつになるんだ

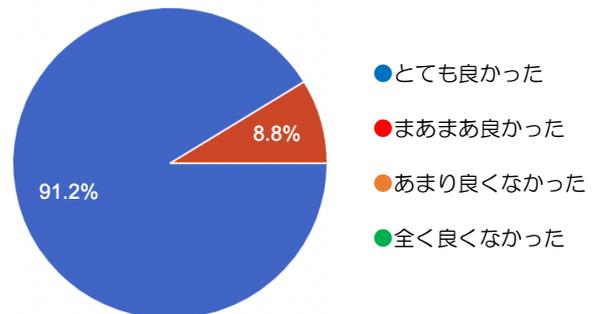


■音楽発表会 保護者アンケート結果 大変多くの方からご回答いただきました。

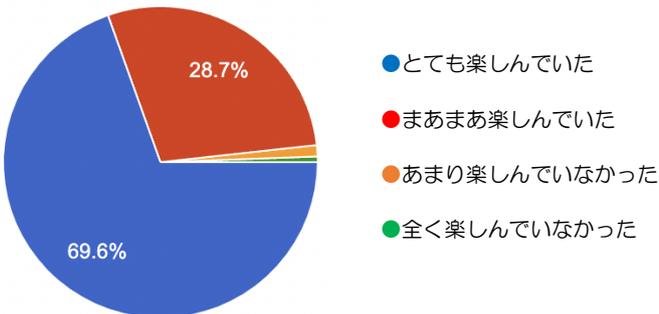
(1) 音楽発表会に向けて頑張っている様子をご家庭でも感じましたか



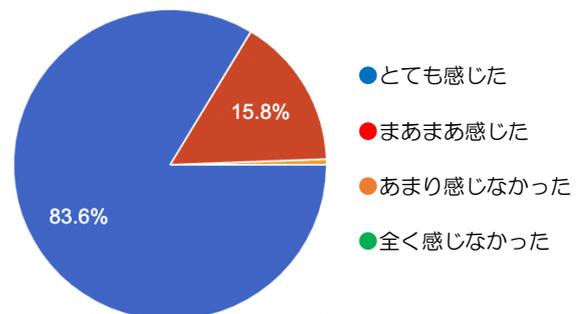
(2) 子供たちの音楽発表会での演奏や合唱は、どうでしたか。



(3) 音楽発表会をお子さんたちは、楽しんでいましたか。



(4) 力を合わせ音楽を作ってきた感じがしましたか。



●感想の一部紹介 *貴重なご意見は、今後に生かしていきます。

- ・私も子供たちががんばる姿に感動させられました。
- ・全学年、一生懸命練習してきたことが伝わった音楽発表会でした。
- ・心温まる合唱、合奏でとても感動しました。
- ・練習していた頃も、音楽って楽しい、音楽が好きだと言っていたのを聞いてこちら嬉しく思いました。
- ・先生たちと子どもたちの努力で素晴らしい音楽祭が見られました。
- ・毎年とても感動します。歌声も合奏もとても心地よく、音楽っていいなあという気持ちになります。

■全校一斉ソーシャルスキル教育

今回は温かいメッセージの伝え方、「相手をほめる言葉」「相手に感謝する言葉」です。全校で先生の演じる悪いモデル、良いモデルを見た後、各教室で良いモデルを実際に練習しました。回を重ねるごとに職員の演技もうまくなり、子どもたちも楽しんで参加するようになっていきます。今回は、跳び箱を成功する場面、消しゴムを拾ってくれた場面でした。

*相手を褒める言葉の例

「すごいね」、「がんばっているね」、「上手だね」

*感謝する言葉の例

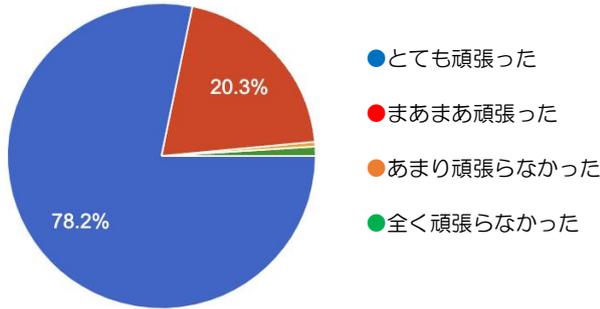
「ありがとう」、「助かったよ」

前回の「励ます言葉」「気遣う言葉」に全校からこんなにたくさんのメッセージが寄せられました。

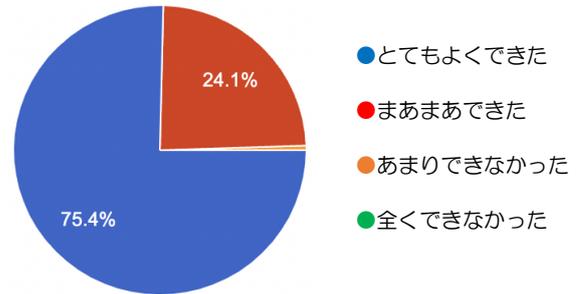


■音楽発表会 児童アンケート結果 *3年生以上です

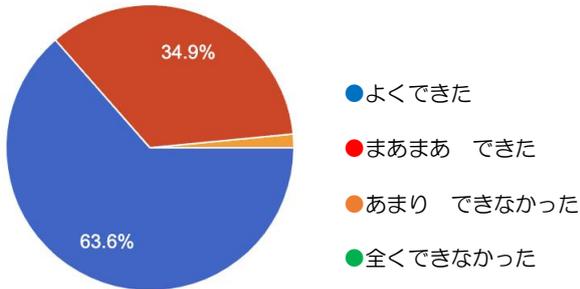
(1) 音楽発表会を頑張りましたか。参加していなくても心の中で思ったことでよいです。



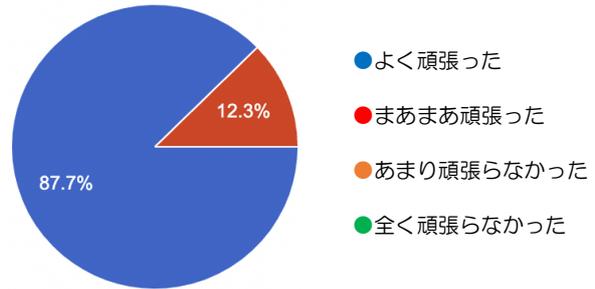
(2) 自分なりに歌や演奏がよくできましたか。



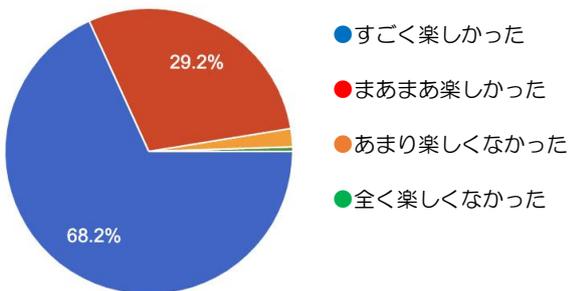
(3) 自分のめあてを達成できましたか。



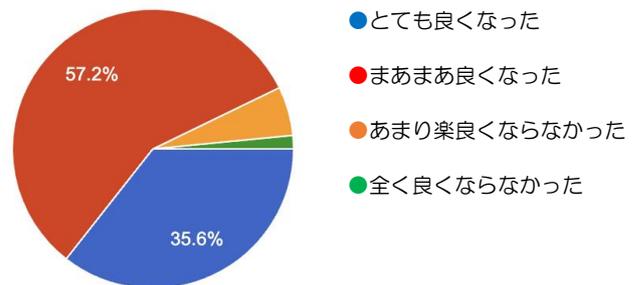
(4) 自分なりに頑張りましたか。



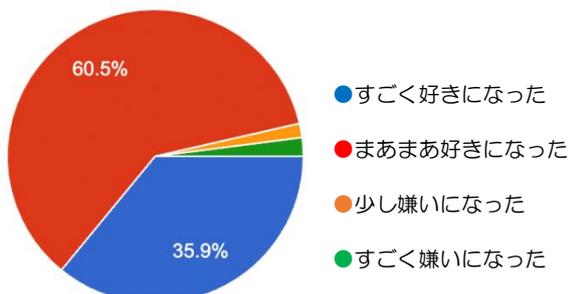
(5) みんなで協力して歌ったり演奏したりすることは楽しかったですか。



(6) 音楽をとおして学級や学年の仲は良くなりましたか。



(7) 音楽発表会をとおして音楽を前より好きになりましたか。



●子どもたちに多かった感想

- ・楽しかった。
- ・緊張した。
- ・前より歌や演奏がうまくなった気がする。
- ・保護者や地域の人から拍手をもらえてうれしかった。
- ・家の人に褒められてうれしかった。
- ・来年もやりたい。

■全国学力・学習状況調査結果について

文部科学省では、毎年、小学校6年生と中学校3年生を対象に全国学力・学習状況調査を実施しています。分かる魅力ある授業作りのための授業改善に生かすことが目的です。令和5年度は、国語、算数を実施し、国語は14問、算数は16問が出題されました。弥彦小学校の正答率は、国語・算数とも県、全国と概ね同程度でした。

【良いところ】

「自分には良いところがあると思う」、「読書が好き」、「工夫して発表する」、「自分の考えをまとめる活動をしている」、「互いの意見の良さを生かして解決方法を決める」、「ICTを活用する」、「地域の行事に積極的に参加している」が、県平均と比較し、とても良いところでした。国語と算数における授業改善の方向は次のとおりです。

【国語についての改善の方向】

- 国語だけではなく、各教科において、資料の読み取り（出題者の意図の読み取り）を継続して指導していく。
- 低学年においては「なぞり読み」、中学年では「線を引く」、高学年では「囲む、つなぐ」といった文章及び問題を正確に読むための指導・支援を行う。
- 日々の授業の振り返りの場面で、教師が観点や条件を明確にして何について書くかを示す。要点を抑えていることが重要であることを伝えていく。
- 教師の示した例文・例示を真似て書いたり、友達の書き方を参考にしながら自分の考えを書いたりすることで、書くことが苦手な児童も意欲をもてるように支援する。

【算数についての改善の方向】

- 児童それぞれのつまずき（問題読解、処理方法、処理過程）について、教師が的確

に把握し、個別の指導や助言を行う。

- 教科書の問題、ドリル、eライブラリを活用した個別学習を充実させ、児童の知識・技能を高める指導を実施していく。
- 解答方法を記述する場面で、箇条書きや自由な列挙だけではなく、条件を示しての記述（例にならって書く、空欄を埋める）を行う場を設ける。

■持久走記録会、がんばりました

マラソン大会からペースランニング走に変更して2年目となります。「自分に合ったペースで長い距離を走りきること」が学習のねらいです。校長の私も6年男子と一緒に走りましたが、自分のペースで走れば良いので非常に気が楽で、順位も明確ではないので心理的な負担がありませんでした。子どもたちは、グラウンド1周の自分のラップタイムを知っており、計算をしながら走っていました。下記は、3年生以上のアンケート結果です。改善すべき点を検討し、次年度につなげていきます。ボランティアの皆様、温かいご声援をくださった保護者の皆様、ありがとうございました。

持久走記録会について自分の考えに一番近いものにつけてください。いくつもつけていいです。
218件の回答

